

第8章

東日本大震災でいわき市の2組合が 必要書類を作成

※『月刊石材』2011年11月号(vol.374)
「シリーズ―復旧・復興への道のり 東日本大震災レポート⑤」より

東日本大震災で発生した大津波によって、岩手・宮城・福島県の沿岸部では、多くの墓地が壊滅的な被害を受けたが、本震で震度6弱を記録した福島県いわき市では、その1カ月後にも大きい地震が相次いだことから墓石の転倒・ズレなどの被害が断続的に発生した。

そうした中、地元にある二つの石材組合は、災害時の対応などに関する資料や情報を収集した上で、墓石の復旧作業に伴う施工単価や関係者への配布・掲示物、あるいは行政に提出する書類などを合同で作成した。石材店が用意すべき災害マニュアルとして非常に役立つ資料なので、その事例を以下に紹介しよう。

石材組合の一つは、旧勿来市を拠点に活動しているいわき市南部石材組合（鎌野敬行組合長、加盟10社）、もう一つはそれ以外のいわき市内の石材店で組織するいわき石材工業組合（菊地芳夫組合長、同28社）である。両組合が緊急合同理事会を開いたのは、地震発生から約3週間経過した4月2日のことだった。

同市では地震直後、水道や電気、ガスなどのライフラインがストップしたほか、食料や薬品などの生活物資が途絶えたり、ガソリン不足に悩まされたため、思うように仕事を再開できない状態がしばらく続いていた。市内

のガソリンスタンドは、タンクローリーがいつ到着するかも判らない状況下で、給油待ちの自動車は何十台も泊り込みで並び、ようやく順番が回ってきても給油制限のため満タンにはできなかった。

こうした中、石材用接着剤が品薄となり入手困難になったこともあって、墓石の復旧作業は限られた範囲で対応せざるを得なかった。また、復旧作業が始まった当初は、春彼岸に間に合わせるため「とりあえず墓石を元の状態に戻す」作業に追われ、ボランティア同然のわずかな修理費で対応した石材店が多かった。

「しかし、修復依頼が余りにも多すぎて、いつまでもボランティアを続けるわけにはいかなくなった。その料金設定も各社ごとで異なり、どう対応すべきなのか、どの石材店にもノウハウがなく、迷いがあったと思う。そのうち悪質なセールスや詐欺まがいの営業が出没しているとの情報も流れ始めたため、石材店の信頼を回復するために今今後の対応について早急に話し合う必要があった」と

と菊地組合長は説明する。

これまで両組合は、花見やゴルフコンペなどで親睦を図ったり、個々の石材店で道具を貸し借りする程度の交流はあったが、今回のように事業面で協力体制を築いた

平成23年 東北地方太平洋沖地震緊急対応策

A-1号(対応書)

■寺院・共同墓地・霊園名と工事区分 ■対応日 記載者:
 平成 23年 月 日 印

■名前 ■住所
 ■TEL

■墓地の場所と特徴

区画番号・墓地番号

本堂・墓地の南・北・東・西・前・裏側 (○で囲む) その他

■その他の詳細

■墓地の状況

(石製)石碑:	五輪塔:	外槽:
<input type="checkbox"/> 字がずれている <small>(セシト施工・ボンド施工)</small>	<input type="checkbox"/> 字が倒れている <small>(墓域内・前・右・左・後)</small>	<input type="checkbox"/> 字が壊れている <small>(加工必要・加工可能・交換)</small>
<input type="checkbox"/> スリソがずれている <small>(セシト施工・ボンド施工)</small>	<input type="checkbox"/> スリソ・蓮華が落ちている <small>(墓域内・前・右・左・後)</small>	<input type="checkbox"/> スリソが壊れている <small>(加工必要・加工可能・交換)</small>
<input type="checkbox"/> 上台がずれている <small>(セシト施工・ボンド施工)</small>	<input type="checkbox"/> 上台が落ちている <small>(墓域内・前・右・左・後)</small>	<input type="checkbox"/> 上台が壊れている <small>(加工必要・加工可能・交換)</small>
<input type="checkbox"/> 中台がずれている <small>(セシト施工・ボンド施工)</small>	<input type="checkbox"/> 中台が落ちている <small>(墓域内・前・右・左・後)</small>	<input type="checkbox"/> 中台が壊れている <small>(加工必要・加工可能・交換)</small>
<input type="checkbox"/> 芝がずれている <small>(タタキ・タタキ・石・土・草)</small>	<input type="checkbox"/> 芝が落ちている <small>(墓域内・前・右・左・後)</small>	<input type="checkbox"/> 芝が壊れている <small>(加工必要・加工可能・交換)</small>
<input type="checkbox"/> 墓誌がずれている <small>(タタキ)</small>	<input type="checkbox"/> 墓誌が落ちている <small>(墓域内・前・右・左・後)</small>	<input type="checkbox"/> 墓誌が壊れている <small>(加工必要・加工可能・交換)</small>
<input type="checkbox"/> 五輪塔がずれている <small>(除染・灰・土・字・オ・上・中・台)</small>	<input type="checkbox"/> 五輪塔が倒れている <small>(墓域内・前・右・左・後)</small>	<input type="checkbox"/> 五輪塔が壊れている <small>(加工必要・加工可能・交換)</small>
<input type="checkbox"/> 塔婆立がずれている <small>(除・灰・土)</small>	<input type="checkbox"/> 塔婆立が倒れている <small>(墓域内・前・右・左・後)</small>	<input type="checkbox"/> 塔婆立が壊れている <small>(加工必要・加工可能・交換)</small>
<input type="checkbox"/> 灯籠がずれている <small>(磨灯籠・墓前灯籠・磨灯籠)</small>	<input type="checkbox"/> 灯籠が倒れている <small>(墓域内・前・右・左・後)</small>	<input type="checkbox"/> 灯籠が壊れている <small>(加工必要・加工可能・交換)</small>
<input type="checkbox"/> 花立・水鉢・香炉のずれ <small>(角物・加工物)</small>	<input type="checkbox"/> 花立・水鉢・香炉の壊れ	<input type="checkbox"/> 旧墓石のずれ 本
<input type="checkbox"/> 外槽が開いている <small>(磨石・コーキング・羽目)</small>	<input type="checkbox"/> 外槽が壊れている <small>(墓域・地盤沈下・近隣から)</small>	<input type="checkbox"/> その他

希望内容 その他(希望納期など)

墓守のみ
 接骨・目地まで

いわき石材工業組合・いわき市南部石材組合 災害緊急対応策書類 A-1号(2011/04/23発行)

図2：修復依頼の対応書

平成23年3月東日本大震災における墓石復旧作業単価

平成23年5月発行

	和型・洋型	五輪塔	施工内容	備考
碑石の復旧 (五輪塔の場合は碑石まで)	25,000 ~	50,000 ~	ボンド接着	機械使用
碑石～上台までの復旧	50,000 ~	70,000 ~	ボンド接着	機械使用
碑石～中台までの復旧	85,000 ~	100,000 ~	ボンド接着	機械使用
碑石～芝台までの復旧	120,000 ~	150,000 ~	ボンド接着	機械使用
碑が倒れている	30,000 ~	80,000 ~	ボンド接着	機械使用
古い石塔が倒れている	35,000 ~	55,000 ~	ボンド接着	機械使用
花立 水鉢が壊れている			要見積り	
土台(外槽)が開いている			要見積り	
土台(外槽)が壊れている			要見積り	
墓前灯籠が倒れている(1本)	20,000 ~		ボンド接着	
お地蔵様が倒れている	10,000 ~		ボンド接着	
墓誌が倒れている	15,000 ~		ボンド接着	

※スリソ、蓮華村の場合は+15000円の追加料金がかかります。

①墓所の状況、機械の搬入時の条件により別途料金が、かかる場合があります。
 ②石が欠けている場合の修理につきましては、その都度見積りさせていただきます。
 金具をつけて組み直す場合はその都度見積りさせていただきます。
 ③その他の人力等による修復につきましては、上記の単価に当てはまるものではなく、ございません。

いわき石材工業組合
 いわき市南部石材組合

図1：東日本大震災における墓石復旧作業単価

のは初めてのことだった。土木業者などが直したと見られる墓石で、スリソや五輪塔の部材が上下逆に設置されていたものもあったという。

先の緊急合同理事会では、両組合合同で災害緊急対策部を設置することを決めたほか、災害関係資料や掲示物などの配布、墓石の復旧作業に伴う施工価格表の作成をおこなったが、その内容については各組合員に速やかに伝達することで情報の共有が図られた。

なお、これら決定事項に反する行為があった場合、「直ちに災害緊急対策部を解散し、看板の撤去及び配布書類の回収をおこなうこと」なども確認したという。

両組合の連名で作成した書類は、以下のとおりである。

東日本大震災における墓石復旧作業単価(価格表)

＝ 図1 (99頁参照)

災害対策書類

修復依頼の対応書

墓地名や施主の連絡先、被害状況などを一覧表にしたもの＝ 図2 (101頁参照)

墓石被害について解説した業界紙の切り抜き

隣接するお墓の倒壊によって被害を受けた場合の法律

災害緊急対策書類 A-4号

いわき石材工業組合
いわき市南部石材組合 からのお知らせ

墓域内は大変危険な状態となっております。
 お立ち入りの際には、十分ご注意ください。

尚、他県などから悪質な営業を行っている業者の
 被害が確認されておりますのでご注意ください。
 また、お墓に関するご相談にお困りの方は、下記の
 ホームページアドレスにて情報を掲示しております。

<http://iwaki-stone.cns-net.jp/saigai/>

ホームページQRコード




図4：墓参者向けの掲示または配布用書類

平成23年東北地方太平洋沖地震緊急対応策

■被害の概要
 平成23年(2021年)東北地方太平洋沖地震
 ○発生日時 平成23年3月11日 14時46分頃
 ○マグニチュード 9.0(暫定値)
 ○場所および浸き 三陸沖(牡鹿半島の東南東、約130km付近)、深さ約24km(暫定値)
 ○震度5強以上を観測した地域 震度6強
 福島県中通り・浜通り

■近隣のお墓に関する被害について参考として、日本石材工業新聞 掲載資料です。



いわき石材工業組合・いわき市南部石材組合 災害緊急対策部
 災害緊急対策書類 A-2号

図3：墓石の被害相談について解説した日本石材工業新聞の切り抜き

の見解を述べたもの(地震の概要を一緒に掲載したものと、切り抜きだけのものがある)。実務的に最も多く相談が寄せられる問題であり、石材店としてその内容を確認しておくほか、寺院などに配布する=図3

掲示または配布用書類

災害緊急対策部がお墓に関する不安や相談に応じていること。

また、地震によって墓石が転倒したりバランスが崩れて、墓地が危険な状態であることや、悪質なセールスや詐欺まがいの営業に対する注意を墓参者などに呼びかけるもの(いずれも地震の概要や両組合員の連絡先などを掲載したHPのアドレス=QRコード付きが明記されており、前出の切り抜きを一緒に掲載したものと要点だけを記載したものがある)=図4

修復した墓石に対する免責事項の説明文とその同意書

巨大地震でお墓の基礎や地盤が脆弱(ぜいじやく)になってい場合、小さな余震でも転倒する可能性があることや、接着剤が完全硬化して実用強度を得るには数週間が必要のため、各店舗が定める保証規程の開始を施工後1カ月後からとする免責事項を説明したものとその同意書=図5

閉眼供養証明書

いわき市生活環境部
環境整備課課中

平成23年 月 日

この度搬入しました墓石は、東日本大震災にて倒壊し不要になった石材で閉眼供養により搬送を行い、一旦仏世界に御魂を送り奉りましたことを証明いたします。

搬入業者
会社名
住所
TEL

発生場所（寺院名 墓地名 霊園名）

閉眼供養執行者

施主
氏名

住所 福島県いわき市

TEL 0246-（ ）-

本証明書は、いわき市災害ごみ仮置き場に、墓石を持ち込む場合に添付する書類として搬送の事実を証明するもので、閉眼供養執行者または施主の押印が必要です。

いわき石材工業組合・いわき市南部石材組合災害緊急対策書類 A-5号

図6：閉眼供養証明書

同意書

いわき石材工業組合・いわき市南部組合 合同災害対策部発行

平成23年 月 日

東北地方太平洋沖地震後の墓石の復旧工事につきましては組合員一同全力で対応しておりますが、本震がマグニチュード9.0と巨大であったため、お墓の基礎や地盤などが傷つき脆弱になっている場合があります。そのため、今後小さな余震でも再度転倒する可能性が否定できません。復旧の際には、各石材店とも専用の接着剤を使用しておりますが、完全硬化して実用強度を得るためには、数週間の期間が必要となります。お客様各位におかれましては誠に勝手ではございますが、上記の理由により、各石材店で定める保証規定の開始につきましては、施工後一ヵ月後とさせていただきます。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

施工日：
施工内容：
平成23年 月 日
施工者

上記内容に同意します。
依頼主

いわき石材工業組合・いわき市南部組合 合同災害緊急対策書類A-8号

図5：修復した墓石の免責事項に対する同意書

墓石や石仏などを指定された災害ごみ（廃棄物）の仮置き場に持ち込む際に、一般市民への配慮から市の担当部署に提出する「図6

以上のとおりであるが、これら価格表や書類の一部は、より実務に即した詳細な内容とするため改訂版が発行されている。同市では3月の本震に続いて、4月11日と翌12日の地震でもいずれも震度6弱を記録しており、わずか2ヵ月間で震度6が3回（震度5はそれ以上）発生するという全国的にも稀な想定外の状況が続いたため、このように臨機応変に対応する必要があるのだ。

「お施主様との間にしっかりと信託関係がある場合は、見積りを省略し、口頭で説明して、作業後に請求書を送ることもできますが、年金生活者で家屋の被害が大きかった方は、さらに墓石の修復にどれだけ費用が掛かるのか心配している人も大勢います。そうした人々には、事前に見積りを出して不安を解消してあげることも大切です」

と鎌野組合長はアドバイスする。

ちなみに、閉眼供養証明書（図6）は、市担当部署から要望を受けて作成したものである。

地震で損壊した石材で廃棄処分が必要になった墓石や石仏などは、一般家庭から出た災害ごみとして指定の仮置き場に持ち込むことができるが、この場所に大勢の市民が入り込むことや周辺住民に対する配慮などから、こうした書類を提出することになった。

「市内には、家庭から出た災害ごみの仮置き場が2カ所（勿来と四倉地区）ありますが、最も多い時で1日1000台もの搬入車両がありました。ここには市民の方が大勢出入りしますし、苦情もありましたので、家名などが刻まれた墓石は表から見えないように埋めてあります。墓石をブレイカーで粉碎するのは大変な作業です。石材店の方はできれば半分か3分の1くらいに小さく砕いてから持ってきてほしい」

と勿来市民運動場で災害ゴミ置き場を管理する担当者は述べていた。

なお、石材店が災害ごみとして墓石等を持ち込む場合は、あくまでも一般市民（事業者を除く）から廃棄処分を委託された搬入業者という立場となるが、その際にこの閉眼供養証明書が必要になることから、以前退会した組合員がそのために再入会することもあったという。

◎両組合による災害緊急対策部HP（地震の概要や両組合員名簿などを掲載）

<http://iwaki-sekizai.cns-net.jp/saigai>